

令和2年度特定外来生物（キョン）防除対策検討委員会（第1回）

議事概要

1. 開催日時 令和2年7月27日（月） 16:00～17:00

2. 開催場所 東京都環境局 19A 会議室及び大島支庁第二会議室

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委員はオンラインによる参加

3. 議事

- 1) 令和元年度キョン防除事業結果について
- 2) 令和2年度キョン防除事業計画について

4. 出席者

■検討委員

織 朱實	上智大学地球環境学研究科 教授
加瀬 ちひろ	麻布大学獣医学部 講師
小池 伸介	東京農工大学 准教授（欠席）
羽澄 俊裕	環境省登録・鳥獣保護管理プランナー
松林 尚志	東京農業大学農学部 教授（欠席）

■臨時委員

石井 信夫	東京女子大学名誉教授
佐々木 洋平	一般社団法人大日本猟友会 代表理事会長
深澤 圭太	国立研究開発法人国立環境研究所 主任研究員（欠席）

5. 議事内容

(1) 令和元年度キョン防除事業結果について

1) 令和元年度キョン防除事業実施結果（資料 1-1）

- 捕獲の実績としてオスが多いとのことだが、メスを効率的に捕獲する見通しは立っているか。

→（事務局）雌雄両方を捕獲できる銃器捕獲が重要だと考えており、できるだけ銃器で捕獲できる場所では銃器で捕獲したい。はり網も捕獲数が多い実績があるので、メスが捕獲できるように改善することが今後の課題。

2) モニタリング結果（資料 1-2）

- センサーカメラ調査における地点ごとの撮影個体の性別に関して、メスの撮影割合が

高い場所では張り網でオスの捕獲が多いなどのリンクがある場合、今後もオスに偏った捕獲が続くと、(撮影割合が)メスに偏る状況になると考えられる。

- キョンの背丈に合うランは食害を受けると聞くので、出現状況だけでなく個体サイズにも着目して注意深く見ていくのがよい。

### 3) 個体数推定 (資料 1-3)

質疑なし。

#### (2) 令和元年度キョン防除事業結果について

##### 1) 東京都キョン防除実施計画令和 2 年度防除事業実施計画案 (資料 2)

- 土地使用承諾業務委託に関して、昨年度台風被害で説明会が実施できなかったというのは、住民に被害が出たためか。  
→ (事務局) インフラ整備を優先しなければならなかったのと、住民の皆様にとっても土地使用承諾説明会を行うのは難しい状況という判断で延期した。
- 「(5) 防除実施計画の改定」に関して、外来生物法 11 条の告示の一部改正についてもう少し詳しく説明してほしい。今の計画の中身を改定するのか。  
→ (事務局) 外来生物法では、キョンに限らずそれぞれの特定外来生物に防除の期間が設定されており、一律平成 32 年度末となっている。どの自治体もそれに基づいて防除実施計画を策定しているので、防除の期間の記載はいずれの防除実施計画でも平成 32 年度末となっている。この記載が今年度今後環境省で改定される見込みとのことなので、それに合わせて期間を延長するための改定が必要と考えている。合わせて、内容の見直しも可能な限り進めていきたい。
- 本検討委員会では、この事業実施計画を承認した。